

答 辞

春の訪れを感じられるこの佳き日。卒業という節目に、新型コロナという目に見えないウイルスに恐怖を感じ、世の中が混乱している状態の中、校長先生はじめ諸先生方には対策を講じていただきありがとうございました。私たちのための卒業式の挙行に、感謝いたします。

思い返せば、入学してから仲間とともに歩んできた3年間は、本当にあっという間でした。クラスの仲間と過ごした何気ない日々も、今となってはかけがえのない時間に思えます。過ぎ去った加茂暁星高校での日々が短く感じられるのは、毎日の学校生活がそれだけ充実していた証だと思えます。毎日登った校門の坂も登ることがなくなると思うと、不思議と懐かしく、そして少し寂しく感じられます。

高校生活を振り返ると、私の中ではやはり生徒会での活動が印象に残っています。各行事のたびに事前に準備をする必要があり、とても忙しい毎日でした。その中でも、思い出さずにはいられないのは体育祭です。

各種目や各チームの細かい決まりを決定することから始まり、用具の点検や不足している道具の買い足し、壊れていたら補強するなど、やらなければいけないことは山積みでした。加えて、全校生徒からの様々な意見や要望を聞きつつの作業だったため、とても大変でした。

総務の話し合いでは決まらないこともあり、途中で投げ出しそうになったこともありました。しかし、高校生活最後の体育祭を成功させたいという思いで、最後まで仕事をやりきることができました。これは、総務のメンバーや先生方の協力があったからだと思えます。本当に、感謝してもしきれません。

体育祭当日は、初めは戸惑いながらも最後まで先輩にしっかりついて行った1年生。中堅学年として、チームを支えて頑張った2年生。最後の体育祭を盛り上げようと先頭を走った3年生。クラス、学年を超えて全校生徒が体育祭という行事で一つになることができました。

より良いものにしていくために意見を出し合い、時には衝突しながらも協力して一つのことを成し遂げる。目標に向かって積み重ねてきたことが実を結び、そこから得られた達成感は、今でも忘れることができません。体育祭のほかにも、球技大会や暁星祭など、いろいろなことがありましたが、どの行事も私にとって貴重な経験となりました。

また、私たちをそばで支えてくださった先生方には、本当に感謝しています。毎日の授業だけでなく、個別指導や進路相談にも丁寧に対応していただきました。悩んだ時には的確なアドバイスをしていただき、時には厳しく指導していただきました。学習面だけでなく精神的にも大きく成長することができたのも、先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

卒業生の皆さん、長いようで短かった3年間、壁にぶつかることもありましたが、どんな時も支え合い、高め合うことのできる仲間とともに高校生活を送ることができました。そんな日があったからこそ今の私たちがいます。これから歩む道はそれぞれですが、支えてくださった方々への感謝と、加茂暁星高校で学んだことを胸に、新たな道を進んでいきましょう。

在校生の皆さん、私たちは今日で卒業します。春からは皆さんが加茂暁星高校の伝統を引き継ぎ、それぞれの目標に向かって努力を重ねていってください。辛いときに助け合う仲間と、いかなる時でもサポートして下さる先生方がいることを忘れず、高校生として残されている時間を悔いのないものにしてください。

最後になりましたが、今日のこのような卒業式は、本意ではない方がほとんどだと思います。でもこのような式だったという記憶とこの気持ちは、私たちしか感じ得ないものだと思います。この卒業を喜びに変え、私たちの宝としまししょう。

今後の加茂暁星高校のますますのご発展をお祈りし、答辞とさせていただきます。

令和2年3月6日

卒業生代表 橋本 怜